



第7回

リカバリーパレード in 大阪 「回復の祭典」

2025.10.26(日)

参加費
無料

- 10:30 靱公園 四ッ橋筋側 広場（大阪府大阪市西区靱本町1丁目9-20）に集合
大阪メトロ四ッ橋線本町駅28番出口が便利です
- 11:00 リカバリー・パレードのスタート～御堂筋を難波までパレード
- 12:00 ゴールの元町中公園（大阪府大阪市浪速区元町1丁目6）で一旦解散
- 12:30 下記フォーラム会場 開場
- 13:00 大阪市立浪速区民センター（大阪府大阪市浪速区稲荷2-4-3）

～プログラム～

開会あいさつ

基調講演 【講師：永田 豊隆 氏】

テーマ 「未定」

参加者よりメッセージ

音楽イベント

16:35 フォーラム終了

にてフォーラムを開催

～プロフィール～

1968年生まれ。

読売新聞西部本社を経て、2002年朝日新聞入社。大阪本社生活文化部などを経て、2022年からネットワーク報道本部記者。

07年と08年、生活保護関連の報道で貧困ジャーナリズム賞受賞。22年4月、摂食障害やアルコール依存症の妻との日々をつづった著書「妻はサバイバー」（朝日新聞出版）を出版し、3回目となる貧困ジャーナリズム賞を受賞



合言葉は「回復」。直面した病気・困難の状況、あるいは回復の仕方は様々。共通して示すことができる「回復」を合言葉に、大阪の街をパレードしましょう。自由参加なので、仲間、支援者、家族、回復と一緒に分かち合える人々に声をかけて参加しよう。大阪の街を回復している姿で一緒に歩いてみませんか？

こころの病、依存症、生きづらさなどから回復の道を歩んでいる本人と家族、友人、支援者、賛同者が、回復の喜びを祝うパレードを行います。私たちは、回復が可能であることを自分たちの声と姿で社会にアピールします。この運動は日本国内では、仙台、東京、神奈川、茨城、大阪、広島、福岡、沖縄で展開されています。世界に目を向ければ、リカバリーウォークとして各国、各地で行われています。

後援：大阪府 / 大阪市 / 大阪市社会福祉協議会 / （公社）大阪精神診療所協会 / （一社）精神保健福祉士協会 / （公社）大阪看護協会 / 関西アルコール関連問題学会 / 大阪弁護士会 / （一社）司法ソーシャルワーク研究所 / （特非）ホザナ・ハウス / （一社）大阪府断酒会 / （特非）京都府断酒連合会 / 滋賀県断酒同友会 / 奈良県断酒連合会 / （特非）兵庫県断酒会 / （公社）三重断酒新生会 / （特非）いちごの会 / （特非）フェニックス会 / 大阪 MAC / 京都 MAC / FREEDOM / びわこ DARC / 京都 DARC / 木津川 DARC / 奈良 DARC / 大阪 DARC / 堺 DARC / 阪神 DARC / 神戸 DARC

主催：リカバリー・パレード関西実行委員会

お問合せ：0774-26-4151（一般社団法人回復支援の会）recopakansai@gmail.com

〒619-0206 京都府木津川市山城町北河原内畑 74-1



RP 関西 HP

参加方法

● 個人で参加

開催日に集合場所に来てください。予約は不要です。

各自、アピールしたいことをプラカードなどに書いて持ってきてくれるのも大歓迎です！

● 団体で参加

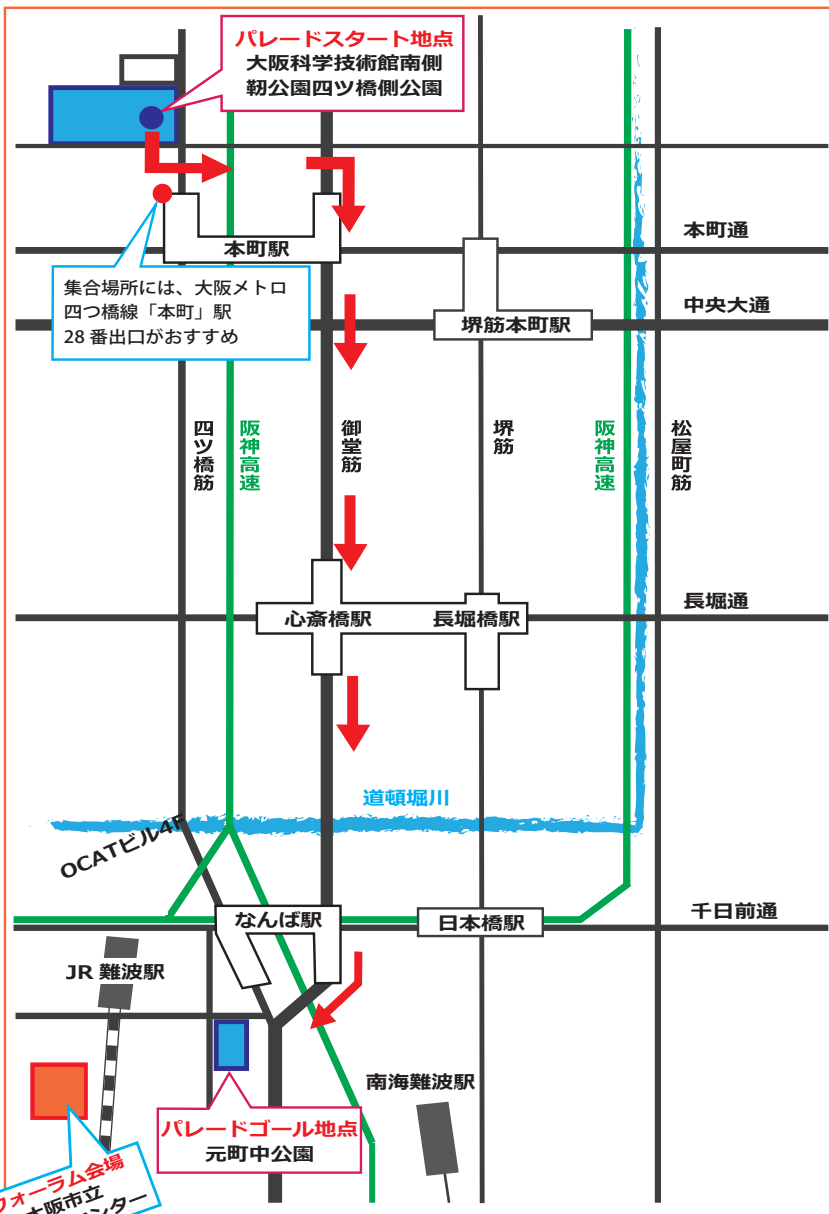
事前に実行委員会までご連絡ください。

● スタッフ募集

リカバリー・パレード関西実行委員会では、随時ボランティアスタッフを募集しております。

*リカバリー・パレード「回復の祭典」は自分の名前を名乗らないで参加することができます。ニックネームや実名で参加することもできます。どれを選ぶかは各自の自由です。

*「12の伝統」をもつグループに所属しているメンバーがパレードに参加する場合には、グループ名を伏せるか、あるいは実名を伏せることでアノニミティの伝統を守ることができます。



リカバリー・パレードとは

趣旨

- (1) 私たちは回復者、家族、友人、支援者、賛同者と一緒に回復の喜びを分かち合い、回復があることを社会にアピールします。
- (2) 私たちは依存症、心の病から回復するための手助けをします。
- (3) 私たちは回復者(団体)同士の交流を深め、社会との協力関係をつくります。

「回復」について

「回復」とは何でしょうか。

私たちは何が回復か(何が回復でないか)を決めません。その人本人が、以前より良くなったことを喜べるのなら、それが「回復」です。特定のグループ(例えば12ステップグループ)の回復の考え方を採用することもしません。回復は人それぞれです。

合言葉は『回復』

私たちが直面した病気・困難の状況、あるいは回復の仕方は、様々です。その私たちが共通して示すことができる「回復」を合言葉にしよう！

とする中で「依存症、精神障がい、生きづらさからの回復」と表すことになりました。参加者の一人一人が、いずれかあるいはいくつかに当てはまる言葉になっています。

リカバリー・パレード関西実行委員会
recopakansai@gmail.com

第7回 リカバリーパレード in 大阪
「回復の祭典」
2025.10.26 (日)